

第1学年国語科学習指導案

日 時 平成22年6月24日(木) 5校時
児 童 男子2名 女子4名 計6名
指導者 教諭 高橋 郁子

1 単元名 せつめいのぶんしょうをよもう

教材名 いろいろなくちばし(説明的文章)

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、挿絵を見ながら語のまとまりや言葉の響きを確認して声に出して読むことを中心に学習してきている。紙芝居や絵本の読み聞かせによりいろいろなお話を楽しんで聞いている。読み聞かせを好み、絵本を開くことが好きな子が多い。また、全員が入学時にひらがな五十音を読むことができおり、文字を書いたり音読したりすることにも意欲的である。初めての物語文「はなのみち」の学習では、絵と文章を照合したり、会話文を見つけてくまさんの気持ちを想像したりしながら内容を理解し、楽しみながら読むことができた。

しかし、入門期であるため、基本文型による文を読む学習は物語文「はなのみち」だけであり、説明的文章の学習は本単元が初めてである。物語文の学習では絵から想像を広げたり視写や動作化をしたりして文の内容をとらえて読む学習をしているが、ひらがなを言葉としてとらえて読んだり内容をとらえて読んだりする力は十分とはいえ個人差も大きい。

そこで、本単元では写真や挿絵から見つけたことと文章とを照らし合わせ、言葉に着目してくちばしの形の特徴やその働きを読み取る活動を通して説明的文章の形式や言葉の使い方を知らせ、基本文型で書かれた内容を読み取る中で書かれていることの大体をつかむことを目標とする。ここで、身に付けさせたい読みの力とは、「C読むこと」(2)の①「イ時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読む。」ことのできる力である。

(1) 教材について

「いろいろなくちばし」は、児童が関心を示しそうなくちばしの絵や鳥の写真が提示されており、初めて見る児童でも興味や好奇心をもつことのできる教材である。絵や写真と合わせた問いかけや答えと説明の文は、基本文型で書かれているため、文の主語・述語のつながりが確かめやすく、この時期の1年生でも内容が理解しやすい。また、始めのページの文と絵で問いかけをし、次のページで答えながら説明するという構成が三回繰り返されるため、謎解きのような興味をもって読み進めながら「問いかけ」と「答え」という説明文の形式を知ることができると思われる。基本文型で書かれたこの文章を繰り返し音読することにより、言葉や文のまとまりに気付き、説明文の構成や言葉の使い方に慣れることができると思われる。本教材は、「問い」と「答え」の文を見つけ、段落のまとまりに気を付けて読むことにより順序を考えながら読むことのできる力を育てるのに適した教材であると考えられる。

(2) 指導について

本教材では、写真や絵を手がかりに、書かれていることの大体を読むことで、生き物への関心を高め、説明文を読む意欲を高めることをねらいとしている。また、入門期であるので、語や文としてのまとまり、内容のまとまりを考えながら、言葉の意味が分かるように声に出して読む力も身につけさせたい。

指導に当たって、第一次では、写真を並べ替えたり写真と文を対応させたりして「問い」と「答え」の形式を押さえさせ、鳥ごとに書かれたまとまりをとらえさせたい。

第二次では、写真を丁寧に見る時間を十分にとり、写真から見つけたことやくちばしの形の特徴をあらわす言葉を手がかりに、くちばしの働きを読み取らせたい。

第三次では、自分の選んだくちばしについて「問い」と「答え」の構成と基本文型を使うことにより、写真と提示された文章を組み合わせるとミニ絵本にまとめさせたい。本単元終了時には自分のまとめた説明文を音読発表することで成就感を味合わせるとともに、「問い」と「答え」の形式が説明文に必要な形式であること

を振り返らせたい。

3 単元目標

- 生き物への関心、形態と生活の関係についての知的興味を通じて、説明文を読むことへの興味・関心を高める。 (関心・意欲・態度)
- 写真を手がかりにして書かれていることの大体をつかむ。 (読むこと)
- 問いかけ・説明の語や文のまとまりを考えながら声に出して読む。 (読むこと)
- 文の主語・述語のつながり確かめながら読む。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元の指導計画と評価規準 (8 時間)

次	指導目標	時	主な学習活動	指導事項と言語活動	評価規準
第一 次	・鳥のくちばしについて興味・関心をもち、写真を手がかりにして進んで文章を読もうとしている。	1	○自分たちの知っている鳥や身近な鳥について話し合う。 ○教材文を読み、鳥のくちばしとその働きに興味を持つ。	読イ ○文章表現上の順序を考えながら読む。 写真と文を照らし合わせ 写真を並べ替える	文章の順に写真を並べている。 (関心・意欲・態度)
	・3つのくちばしについて、それぞれ問いと答えという形式で書かれていることが分かる。	2	○教材文を読み、鳥ごとに「問い」と「答え」の順に書かれていることを確かめる。 ○文のまとまりに気を付けながら音読する。	読ア ○ひとまとまりの文や語として読む。 写真と文章を照合し、ペ ア読みで確かめる	「問い」「答え」のまとまりに分かれて音読している。 (読むこと)
第二 次	・きつつきのくちばしとその働きについて読み取ることができる。	3	○きつつきのくちばしの形の特徴が書かれた文を見つける。 ○きつつきのくちばしの働きを確かめる。	読イ ○文章表現上の順序を考えながら読む。 くちばしの形の特徴を書 いた文を見つけサイドラ イン・視写	きつつきのくちばしの形の特徴を書いた文にサイドラインを引いている。 (読むこと)
	・おうむのくちばしとその働きについて読み取ることができる。	4 本 時	○おうむのくちばしの形の特徴が書かれた文を見つける。 ○おうむのくちばしの働きを確かめる。	読イ ○文章表現上の順序を考えながら読む。 「答え」の文を視写 くちばしの形の特徴を書 いた文とその働きにつ いて書いた文にサイドラ イン・視写	おうむのくちばしの形の特徴について書かれた文とその働きが書かれた文にサイドラインを引いている。 (読むこと)
	・はちどりのくちばしとその働きについて読み取ることができる。	5	○はちどりのくちばしの形の特徴が書かれた文を見つける。 ○はちどりのくちばしの働きを確かめる。	読イ ○文章表現上の順序を考えながら読む。 「答え」の文を見つけ視写 くちばしの形の特徴につ いて書かれた文とその働 きについて書かれた文に サイドライン・視写	はちどりのくちばしについて書かれた文とその働きについて書かれた文にサイドラインを引いている。 (読むこと)
第三 次	・好きな鳥のくちばしを選び、そのくちばしと鳥を関係付け、説明の文にまとめることができる。	6 7	○写真の中から好きな鳥のくちばしを選び、その特徴を見つける。 ○写真を見比べ、同じくちばしを持つ鳥を見つける。	読イ ○時間や事柄の順序を考えながら読む。 写真を照合する 選んだ鳥を説明した文章	選んだ鳥について書かれた文を選んでいる。 (読むこと)

		○選んだ鳥のえさを確かめ、その鳥について説明した文を見つける。 ○選んだ鳥について問いと答えの形式で説明文にまとめる。	を選ぶ ○文章表現上の順序を考えながら読む。 「問い」と「答え」の文を書き、段落をまとめる。	選んだ鳥について「問い」と「答え」の形式にまとめている。(読むこと)
・選んだ鳥のくちばしについて「問い」と「答え」の形式に気を付けながら音読発表をすることができる。	8	○選んだ鳥について写真と説明文を合わせて発表する。 ○教材文でまとめた説明文とあわせ、ミニ絵本を作る。	読ア ○明瞭な発音で、ひとまとまりの文や語として音読する。 選んだ鳥についてまとめた文を音読発表	語のまとまりや文が区別できるように読んでいる。(読むこと)

5 本時の指導（4/8時間）

(1) 目標

おうむのくちばしの特徴とその働きについて読み取ることができる。

(読むこと)

(2) 具体の評価規準

A	B	指導の手立て
おうむのくちばしの働きについて書かれた文が分かり、その働きを見付けている。	おうむのくちばしの特徴や働きについて書かれた文を見付け、サイドラインを引いている。	くちばしの絵やえさを摂る写真に注目させ、絵や写真から見付けたことが書かれた文を見付けさせる。

(3) 本時の指導事項

本時は、おうむのくちばしの形について書かれた文を見付け、「問い」と「答え」の形式を手がかりにそのくちばしの働きについて書かれた文を見付けることをねらいとする。おうむのくちばしの絵を手がかりとしてくちばしの形の特徴を書いた文を見付けてサイドラインを引き、くちばしの形の特徴を確かめさせる。また、「問い」と「答え」の形式で書かれていることから、「答え」の文を視写させることでくちばしの働きについて書かれた文を見付けさせ、写真と文を合わせながらおうむのくちばしの働きをとらえさせたい。

(4) 展開

段階	学習活動と主な発問・予想される児童の反応 発問(○) 児童の反応(・)	評価・留意事項 評価(*) 留意事項(・)
つかむ 10分	1 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> おうむのくちばしについてかんがえよう。 </div> 2 課題解決の見通しを持つ。 ○きつつきのくちばしと違うところはどこでしょう。 ・太い ・重なっている ・短い ・すきまがある ・曲がっている	・全文を音読し、前時の学習を想起させる。 ・音読は一文読みで行わせ、個々の読み方を確かめる。 ・「きつつき」と「おうむ」のくちばしの写真を比べて気付いたことを自由に発表させる。
さぐる	3 おうむのくちばしの形の特徴が書かれた文を見付ける。 ○おうむのくちばしはどんな形をしていますか。 ・ふとい ・さきがまがったくちばし ・ふとくて、さきのまがったくちばしです。	・おうむのくちばしの写真から見付けた特徴を手がかりに見付けさせる。 ・くちばしの形の特徴が書かれた文にサイドラインを引かせる。 *くちばしの形の特徴について書かれた文を見付けている。(発表、サイドライン)

15分	<p>○これはなんのくちばしでしょう。</p> <p>・これは、おうむのくちばしです。</p>	<p>・「問い」と「答え」の形に添って答えさせる。</p> <p>・「答え」の文を視写し、「問い」と「答え」の形式を確かめる。</p>
ふかめる 15分	<p>4 おうむのくちばしの働きを確かめる。</p> <p>○太くて先が曲がっているのは何をするためかな。</p> <p>・えさをたべるため</p> <p>・かたいたねのからをわるため</p> <p>・種の中身を食べるため</p> <p>・からをわるため</p> <p>・たねを割って食べるため</p>	<p>・おうむの写真を見ながらくちばしの働きやそのわけを考えさせる。</p> <p>・くちばしの働きを表す文にサイドラインを引かせる。</p> <p>*くちばしの働きが分かる文を見付けている。(発表, サイドライン)</p> <p>・確かめながら一緒にワークシートに視写をさせる。</p>
まとめ 5分	<p>5 学習のまとめとして、第2段落を「問い」と「答え」の段落に分かれてペア読みをする。</p> <p>6 学習の振り返りをする。</p> <p>○今日の学習で、どんなことが分かりましたか。</p> <p>・おうむのくちばしのこと分かりました。</p> <p>・おうむのくちばしが曲がっているわけが分かりました。</p> <p>・おうむがたねをわってなかみをたべることが分かりました。</p> <p>○今日の学習で、どんなことをがんばりましたか。</p> <p>・大きな声で読めてよかったです。</p> <p>・書くことをがんばりました。</p>	<p>・段落に分けることで、「問い」とその「答え」で文章が構成されていることを確かめる。</p> <p>・話型を知らせ、感想を話させる。</p>

(5) 板書計画

おうむの
写真

こたえ

これは、なんのくちばしでしょう。

の
絵
くちばし

とい

いろいろなくちばし

かたいたねのから
をわります。

そして

ふとい
さきがまがった
ふとくて、
さきのまがった

みをとべます。